

I. 産業医として、厚生労働省へのB型・C型肝炎およびキャリアである労働者に関する対策について質問します

(1) あなたは産業医として、厚生労働省にどのようなB型・C型肝炎およびキャリアである労働者に対する対策を望みますか？(複数回答可) (n=100)

肝炎労働者の就業制限に関する基準を示してほしい	60 (60%)
肝炎労働者に対する職場での倫理上の配慮に関する指針を出してほしい	41 (41%)
肝炎労働者の職場における健康管理の指針を出してほしい	35 (35%)
B型およびC型肝炎対策を職場に持ち込まないでほしい	5 (5%)
その他	
何も望まない	5 (5%)
肝炎労働者の問題だけ特別扱いしないでほしい	3 (3%)
正確な実態調査をしてほしい	3 (3%)
肝炎労働者に対して厚生労働省から経済的援助してほしい	2 (2%)
肝炎労働者に対して疾患教育を普及してほしい	1 (1%)

J. 本アンケート調査の後、貴社(事業所)のB型・C型肝炎およびキャリアである労働者を対象に、継続的な調査を行うことは可能でしょうか？(n=100)

困難である	62 (62%)
可能である	23 (23%)
上司と相談して回答する	15 (15%)

表2. アンケート II : 「産業医の把握している B 型・C 型肝炎およびキャリアである労働者に関する調査票」の内容と結果

(1) 年齢 (n=408)	
50 ~ 59 歳	183 (44.8%)
40 ~ 49 歳	135 (33.1%)
30 ~ 39 歳	68 (16.7%)
29 歳以下	17 (4.2%)
60 歳以上	5 (1.2%)
(2) 性別 (n=404)	
男	362 (89.6%)
女	42 (10.4%)
(3) 肝炎ウイルスは何型ですか? (n=403)	
C 型	216 (53.6%)
B 型	185 (45.9%)
B 型および C 型	2 (0.5%)
(4) 産業医 (あるいは健康管理スタッフ) が B 型・C 型肝炎ウイルスに感染していることを最初にどのようにして知りましたか? (n=406)	
会社 (事業所) における肝炎ウイルス検診	138 (33.9%)
本人からの報告あるいは個人的健康相談	116 (28.6%)
健康診断で肝臓の精密検査を指導され、医療機関を受診したため	79 (19.5%)
健康診断時の本人からの申告 (既往歴、現病歴など)	50 (12.3%)
会社担当者からの報告	9 (2.2%)
社内の人間ドックおよび診療所	6 (1.5%)
不明	8 (2.0%)
(5) 現在の肝炎の病状をお答え下さい (n=407)	
キャリア	207 (50.8%)
慢性肝炎	183 (45.0%)
肝硬変・肝癌	17 (4.2%)
(6) 現在の肝炎以外の合併疾患についてお答え下さい (n=408)	
合併疾患がある	149 (36.5%)
合併疾患はない	259 (63.5%)
肝炎労働者の合併疾患 (複数の合併疾患を有する例あり: 人数)	
高脂血症	52
高血圧	41
糖尿病	32
高尿酸血症	15
消化性潰瘍	8
腫瘍性疾患	7
腎障害	6
心疾患 (心房細動、不整脈など)	6
精神・神経疾患	3
貧血	2
その他	8

(7) 本症例の労働者は現在、有害業務に従事していますか？(n=408)	
有害業務に従事している	117 (28.7%)
有害業務に従事していない	291 (71.3%)
(8) (7)で「ア.はい」と答えた人だけ回答して下さい (不明 5:n=112) 有害業務を下記の中からお選びください (複数回答可)	
深夜業	50
有機溶剤	24
騒音	22
粉塵	6
特定化学物質	5
鉛	3
電離放射線	2
暑熱寒冷	0
異常気圧	0
振動	0
重量物	0
(9) 本症例の肝炎労働者に対してどのような指導をしていますか？ (複数回答可) (n=404)	
定期的に経過観察、健康相談を行っている	280
特別な指導はしていない	104
就業制限をしている	17
配置転換を行った	3

女性：22,500 (16%)

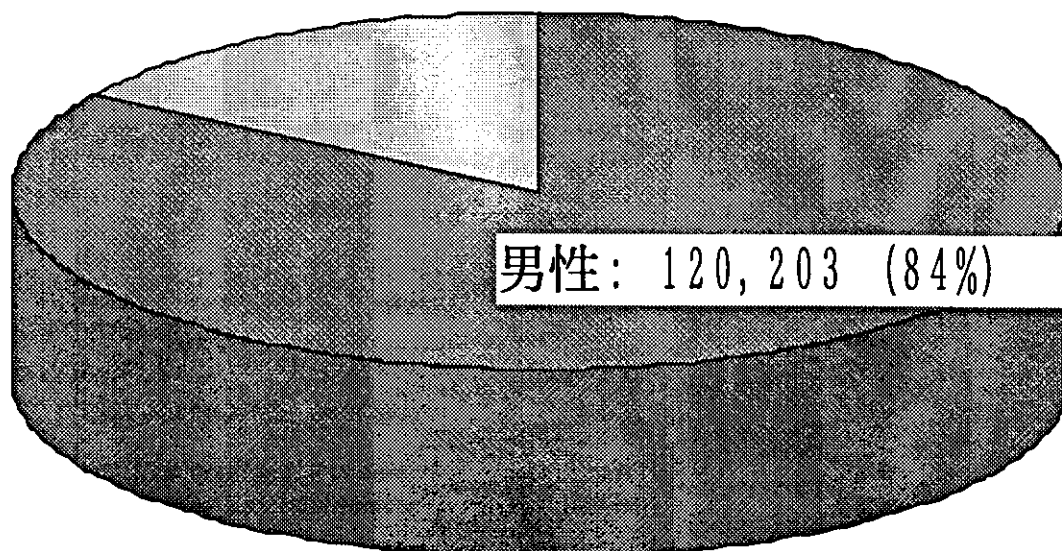


図1. アンケートにおける一般健康診断受診者総数  
(n=142,703)

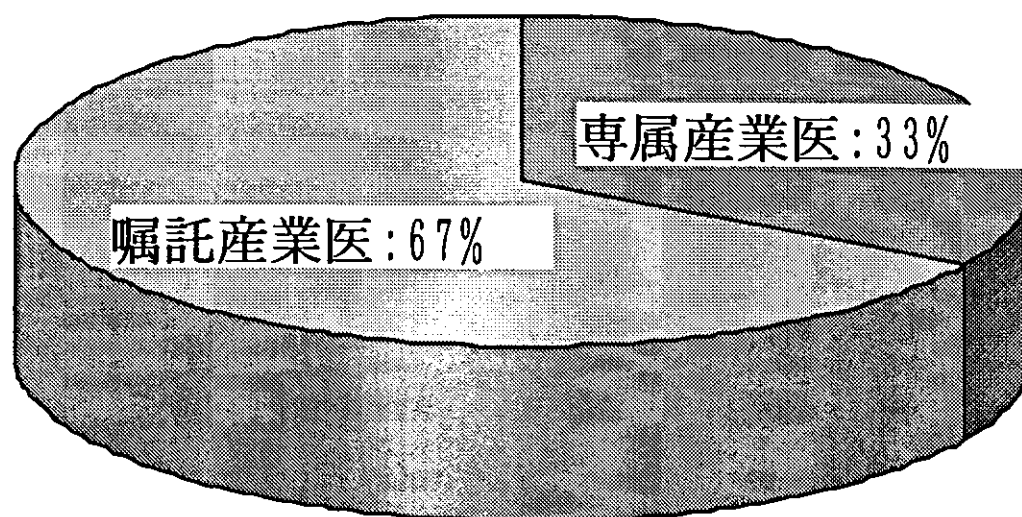


図2. アンケートにおける専属産業医・嘱託産業医  
の割合 (n=100)

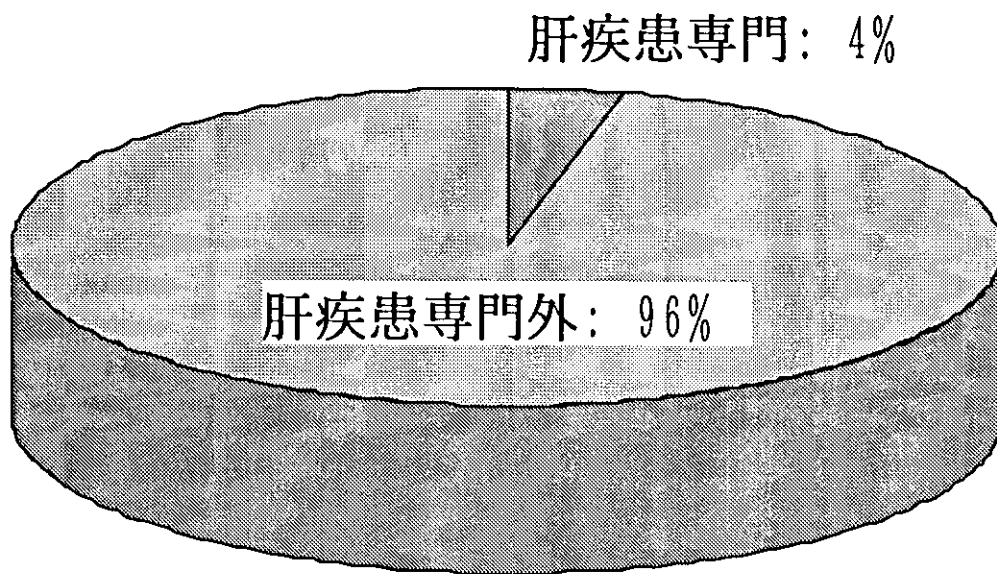


図3. 肝疾患を専門とする産業医 (n=100)

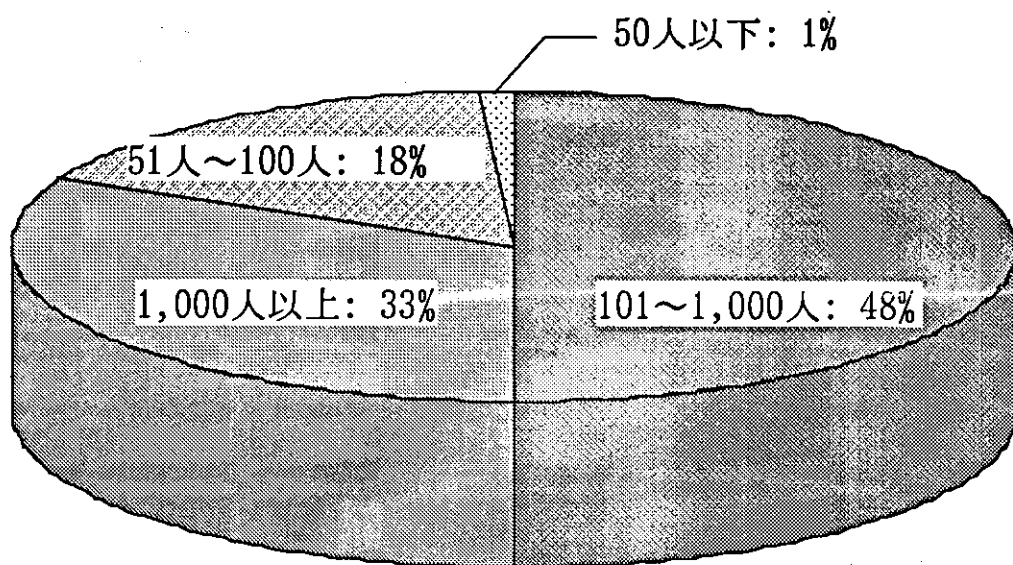
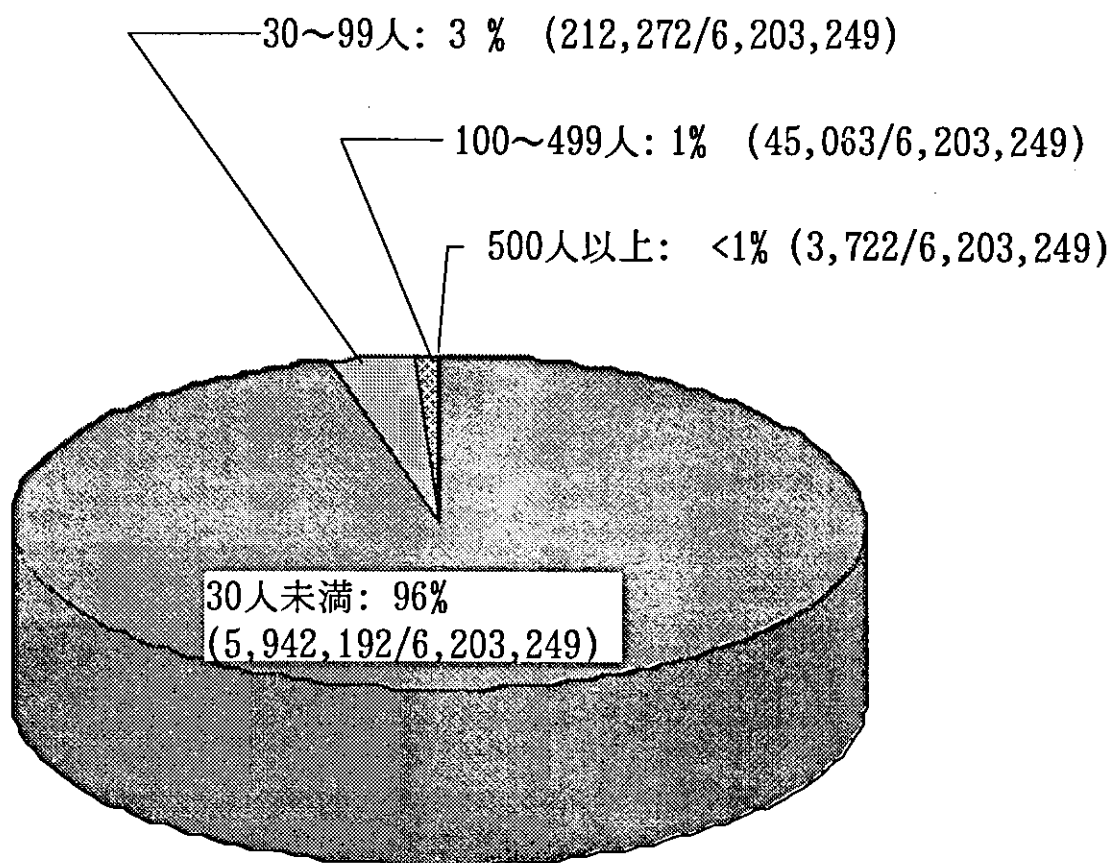


図4A. 従業員数別の事業所数 (n=100)



(厚生労働省統計表データベースシステム:  
[http://wwdbtk.mhlw.go.jp/toukei/youran/indexyr\\_c\\_1.html](http://wwdbtk.mhlw.go.jp/toukei/youran/indexyr_c_1.html) より)

図4B. 日本における従業員数別の事業所数  
 (H11年7月)

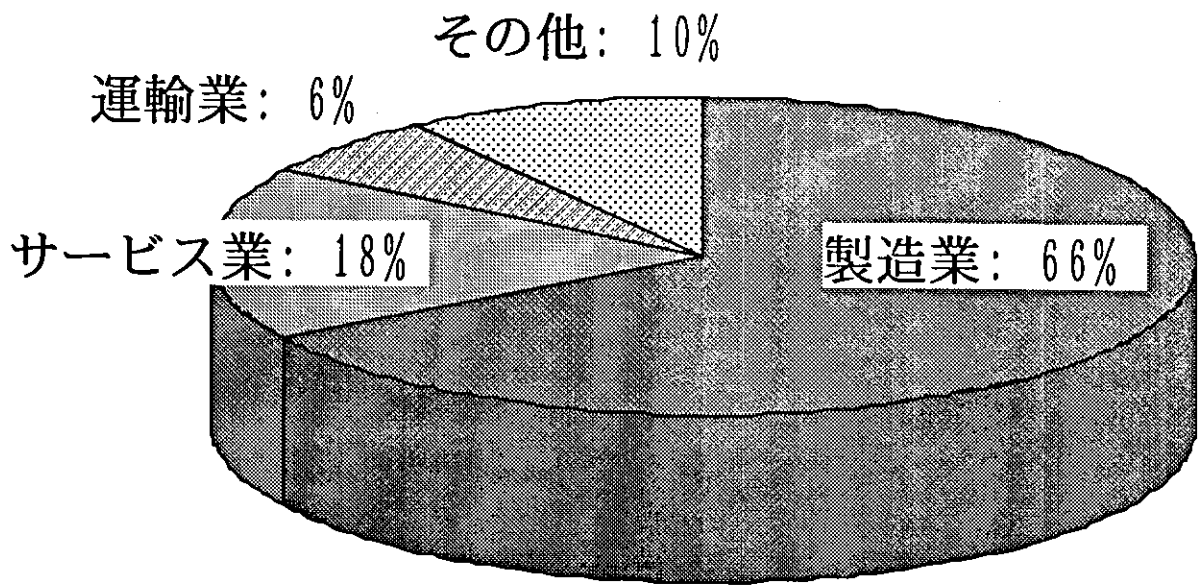


図5. アンケート回答事業所の業種別頻度 (n=100)

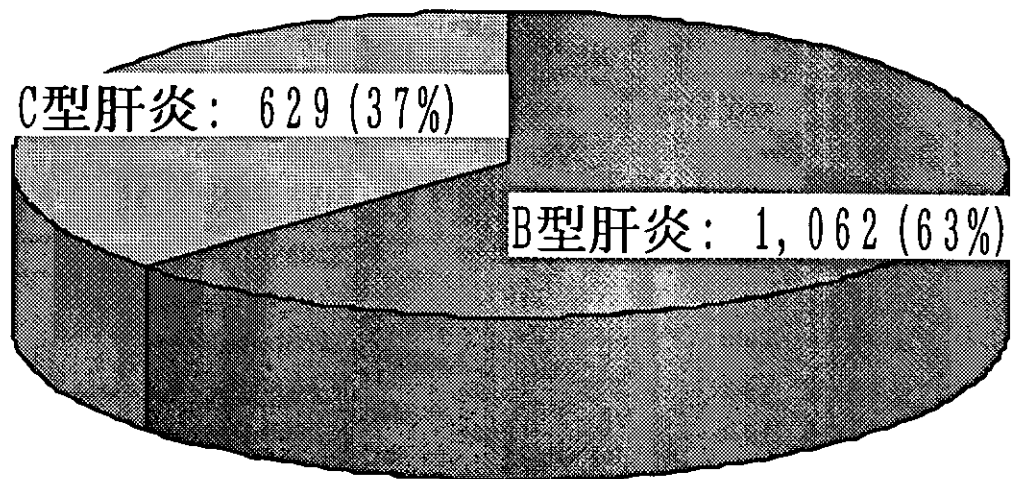


図6. 産業医に把握されている肝炎労働者 (B型・C型肝炎およびキャリアである労働者) の数 (n=1,691)

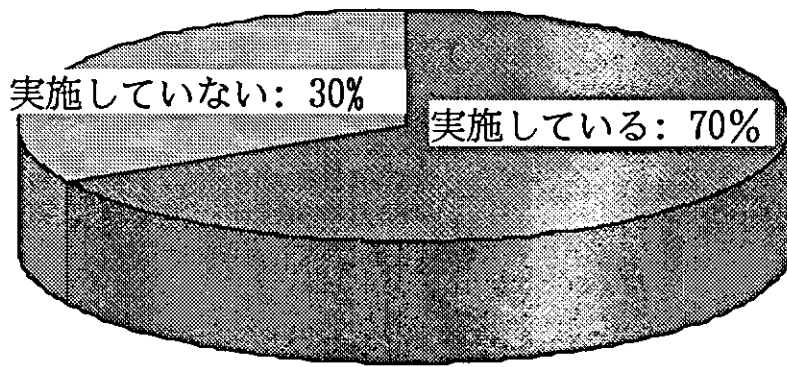


図7. 肝炎労働者に対する健康相談や健康指導の実施 (n=96)

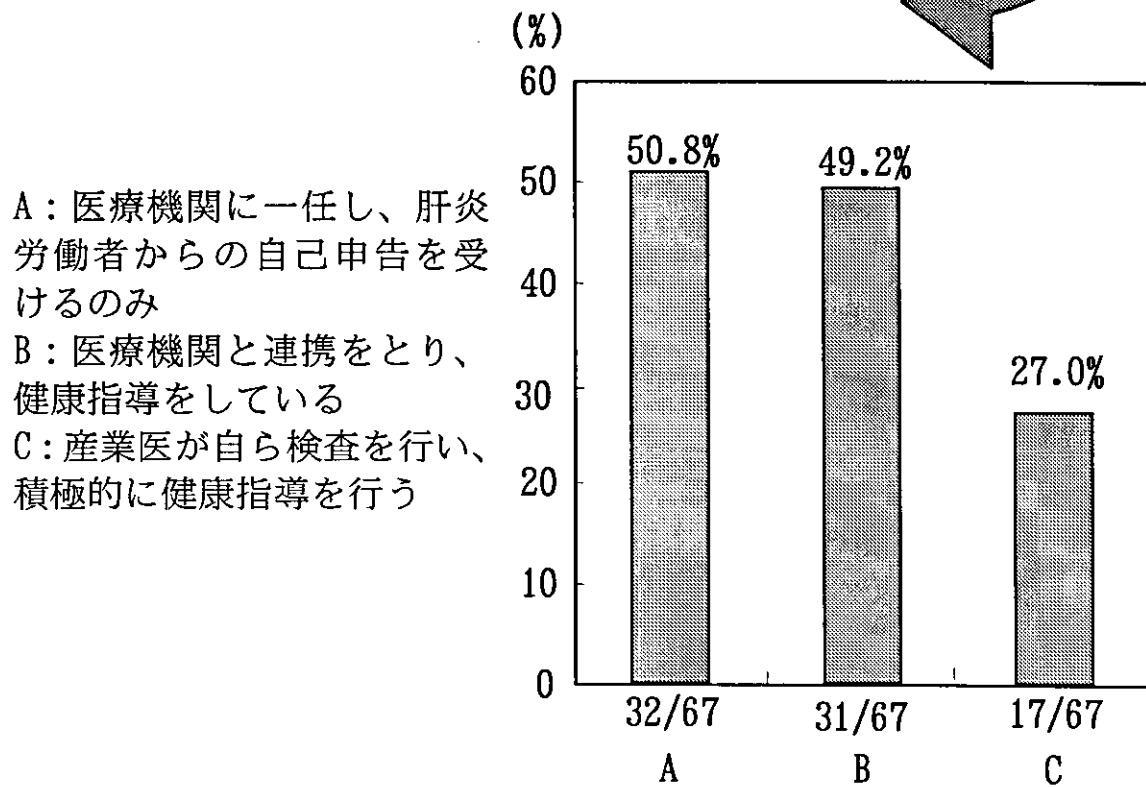
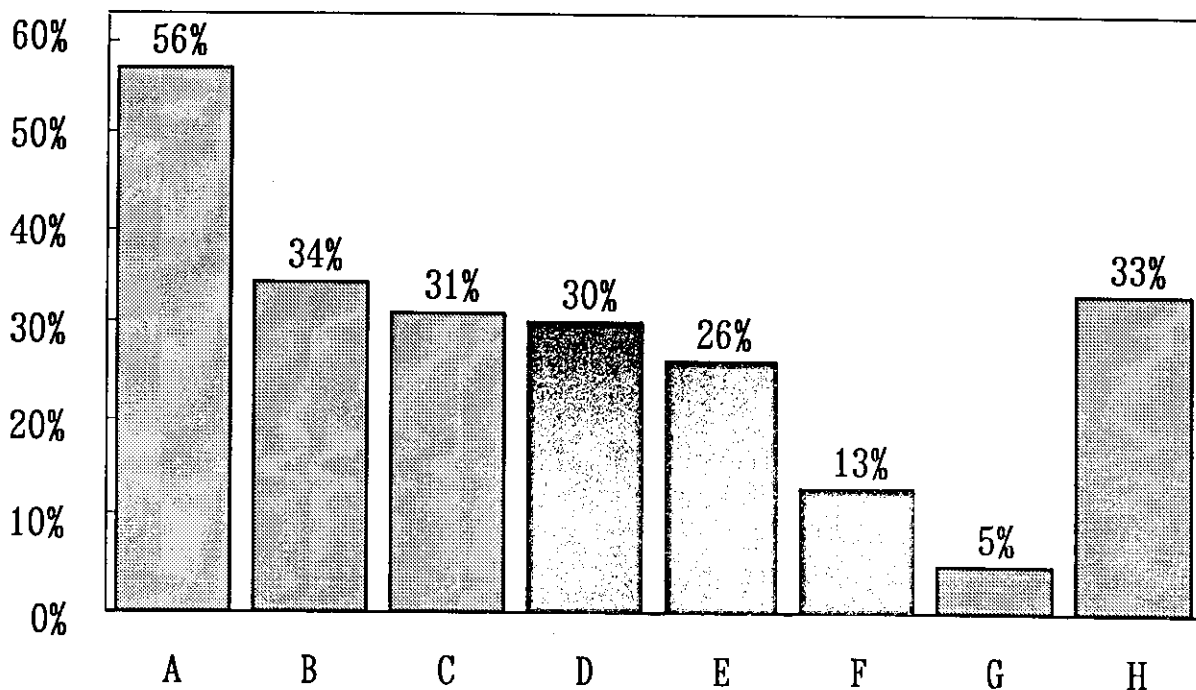


図8. 肝炎労働者に対する健康相談や健康指導の実施方法 (n=67)





- A: 薬物等の治療を含む肝炎全般に関する相談・質問
- B: 医療機関受診の便宜についての相談・質問
- C: 食事、休養などの私生活に関する相談・質問
- D: 仕事量・作業内容についての相談・質問
- E: 労働負荷と肝疾患増悪との関係についての質問
- F: 職場内感染に関する相談・質問
- G: その他
  - 家庭内感染に関して-3例
  - 予後、転帰に関して-1例
  - 質問に対し非常勤専門医が対応-1例
- H: 質問を受けたことがない

図9. 産業医に対する肝炎労働者からの相談・質問  
(n=100)

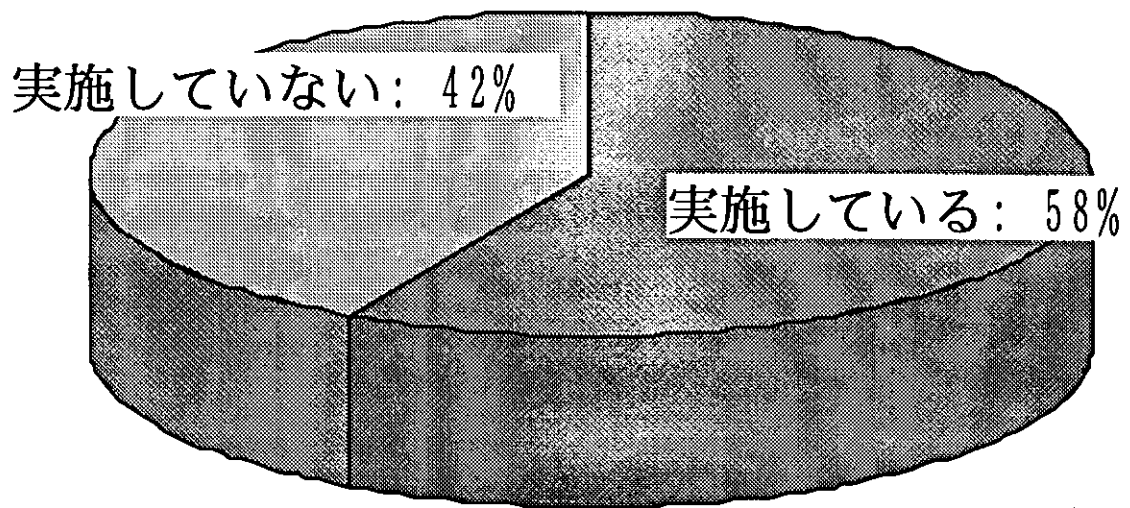


図10. 事業所における肝炎ウイルス検査の実施  
(n=100)

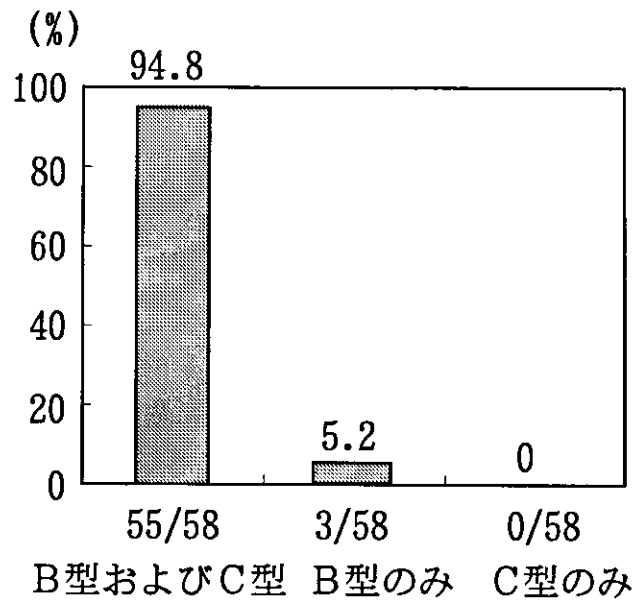


図 11. 事業所における肝炎ウイルス検査  
(n=58)

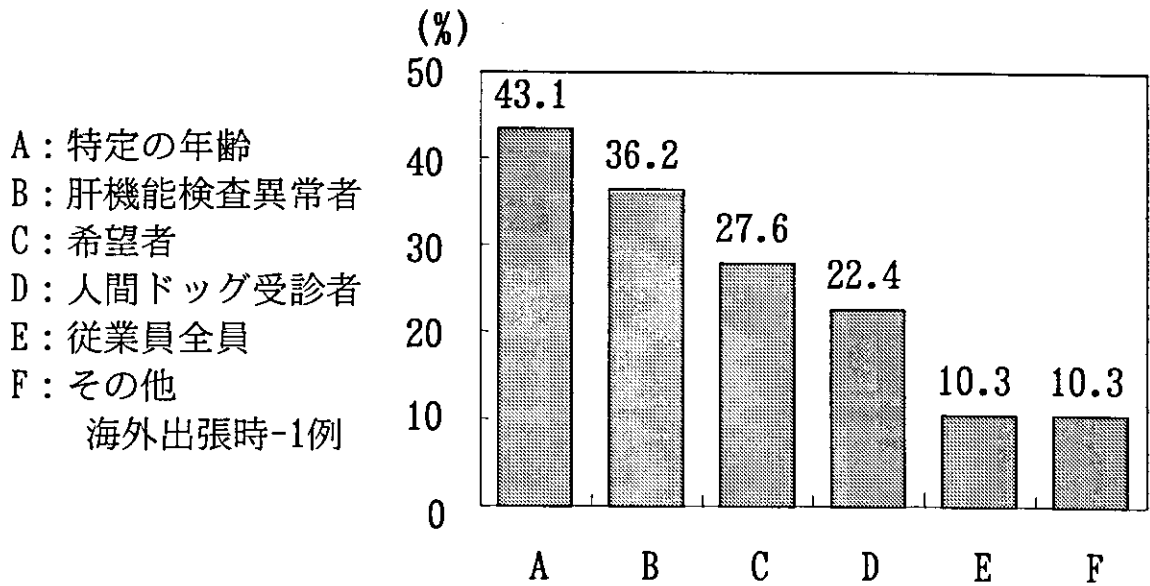
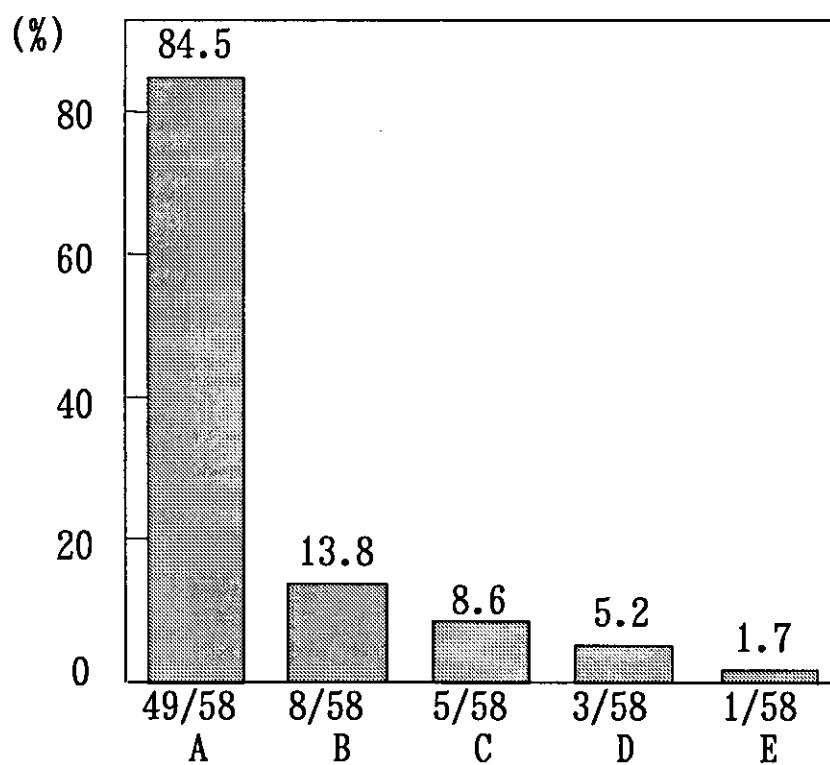


図 12. 肝炎ウイルス検査を施行する対象  
(n=58)



- A : 事業所(会社) または健康保険組合が全額負担
- B : 自己負担(医療保険の補助を含む自己負担)
- C : 事業所(会社) または健康保険組合が一部補助
- D : 生活習慣病予防検診における政府管掌健康保険からの補助
- E : 老人保健法に基づく国と地方自治体からの補助

図13. 肝炎ウイルスの検査費用の負担 (n=58)

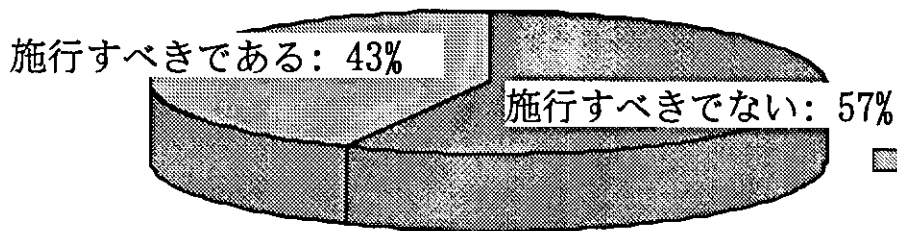
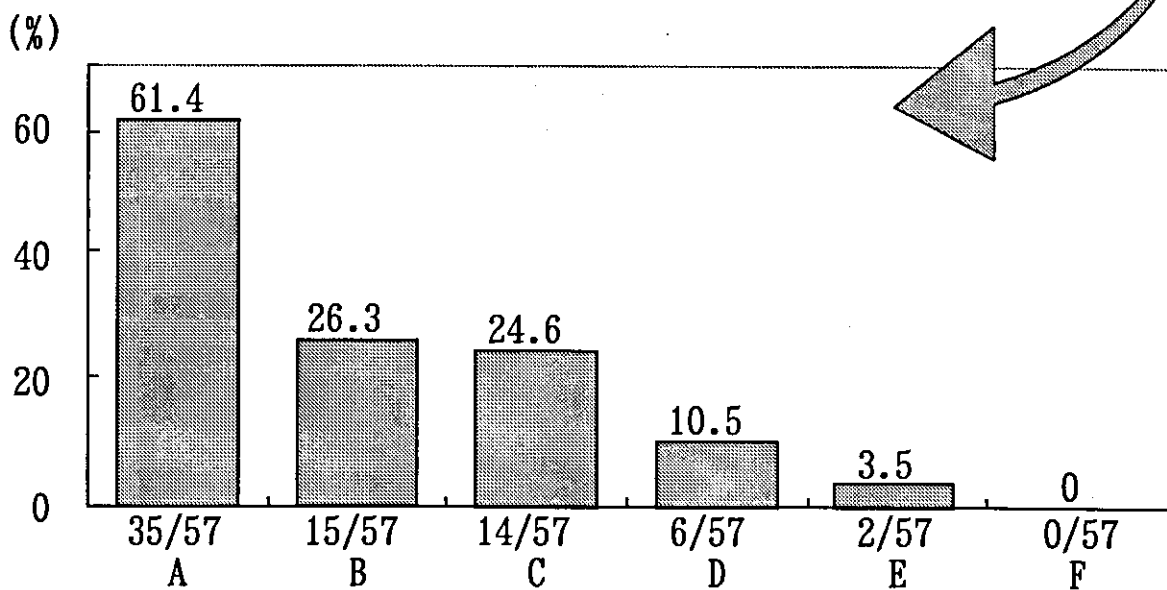


図14. 「事業所で一次検査として肝炎ウイルス検査を施行すべきかどうか」の産業医に対する質問 (n=100)



- A: キャリアが不当な差別を被る危険性がある
- B: 業務とウイルス性肝炎増悪との関係が明らかでない
- C: 検査費用の補助がない
- D: 感染者を発見しても確実な治療法がない
- E: その他
  - 本人の判断によるべき-1例
  - 肝炎・肝癌の発生を抑制できるという根拠がない-1例
- F: 分からない

図15. 事業所で一次検査として肝炎ウイルス検査を施行すべきでない理由 (n=57)

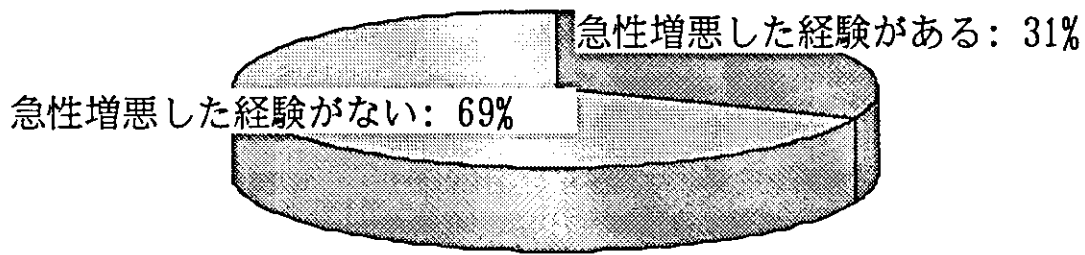
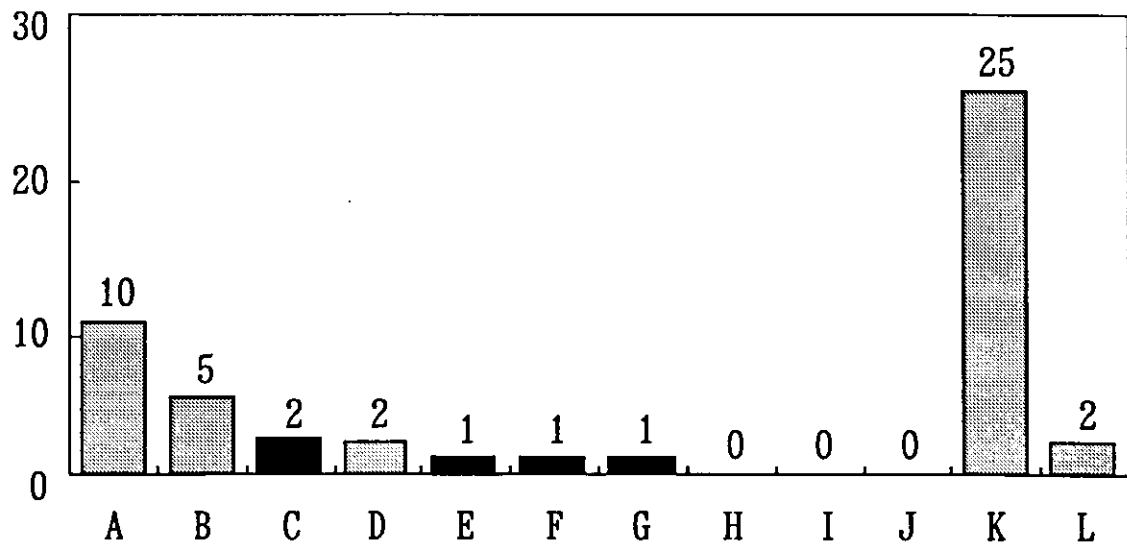
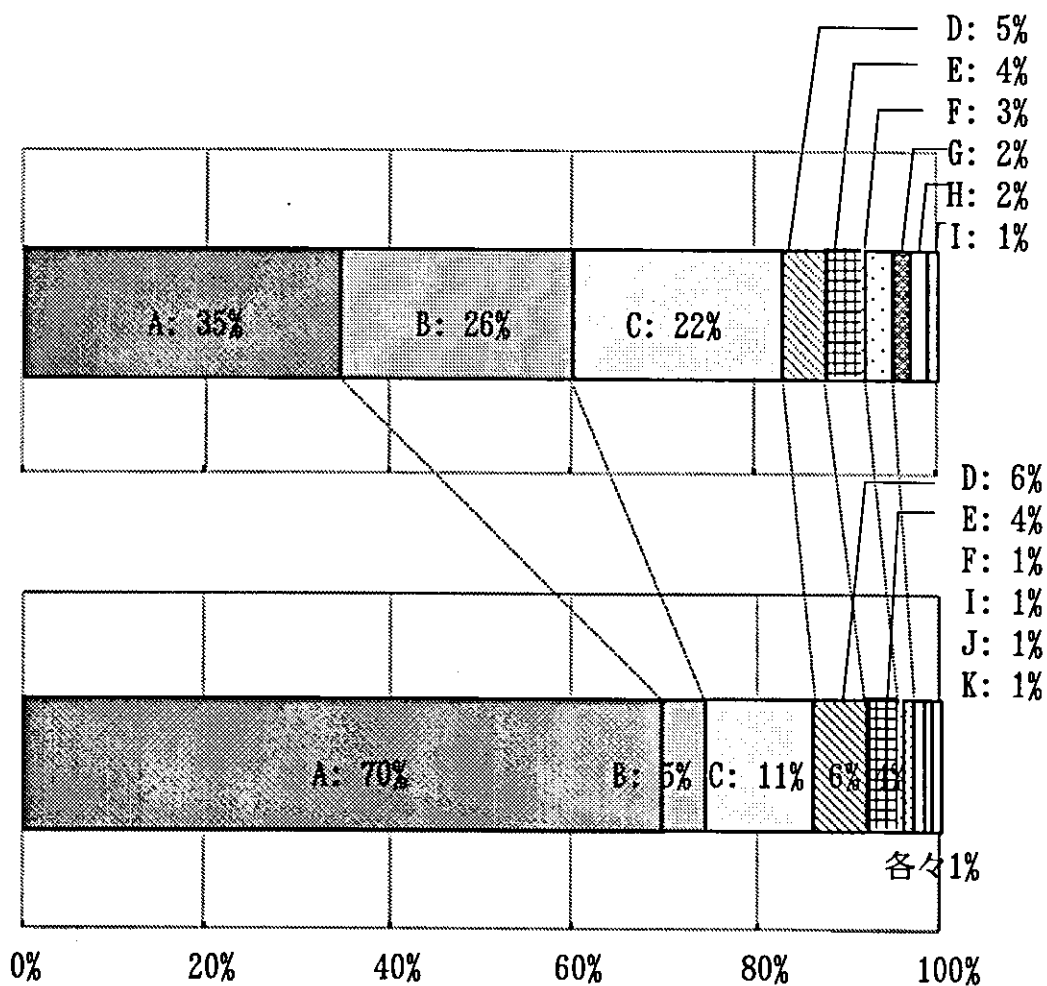


図 16. 肝炎労働者の肝機能が急性増悪した経験の有無 (n=100)



- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| A: 飲酒          | B: 治療中断             |
| C: 過重労働        | D: 私生活でのストレス・過労     |
| E: 職場での精神的ストレス | F: 国外出張             |
| G: 国内出張        | H: 化学物質曝露           |
| I: 単身赴任        | J: 配置転換             |
| K: 原因不明        | L: その他 (治療、疾病の自然経過) |

図17. 肝炎労働者の肝機能が急性増悪した理由 (n=31)

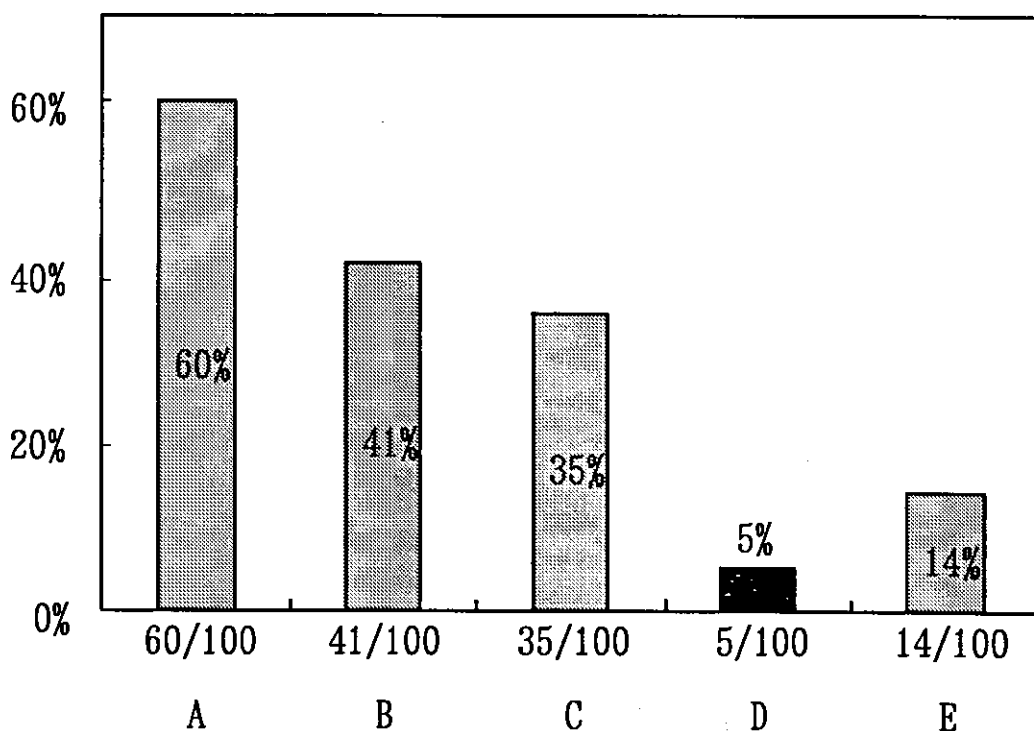


- A: 産業医
- B: 衛生管理者
- C: 産業看護師(保健師)
- D: 産業医と産業看護師
- E: 安全衛生担当者
- F: 人事・労務担当者
- G: 産業医と関連病院
- H: 本人または特になし
- I: 産業医と衛生管理者
- J: 関連病院
- K: 産業医と衛生管理者と産業看護師

図18. 肝炎労働者の情報管理責任者 (n=100)

上段：実際の管理責任者

下段：望ましい管理責任者



- A: 肝炎労働者の就業制限に関する基準を示してほしい
- B: 肝炎労働者に対する職場での倫理上の配慮に関する指針を出してほしい
- C: 肝炎労働者の職場における健康管理の指針を出してほしい
- D: B型・C型肝炎対策を職場に持ち込まないでほしい
- E: その他
  - 何も望まない-5例
  - 肝炎労働者の問題だけ特別扱いしないでほしい-3例
  - 正確な実態調査をしてほしい-3例
  - 肝炎労働者に対して厚生労働省から経済的援助をしてほしい-2例
  - 肝炎労働者個人に対する教育を普及させてほしい-1例

図19. 産業医として厚生労働省に対する肝炎労働者対策の要望 (n=100)



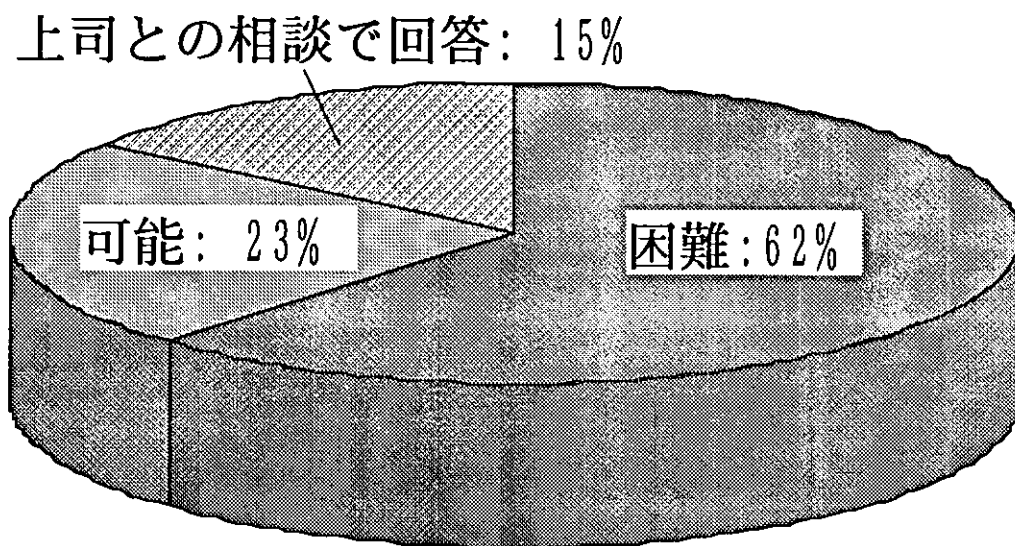


図20. 各事業所における肝炎労働者に対する継続的な調査 (n=100)

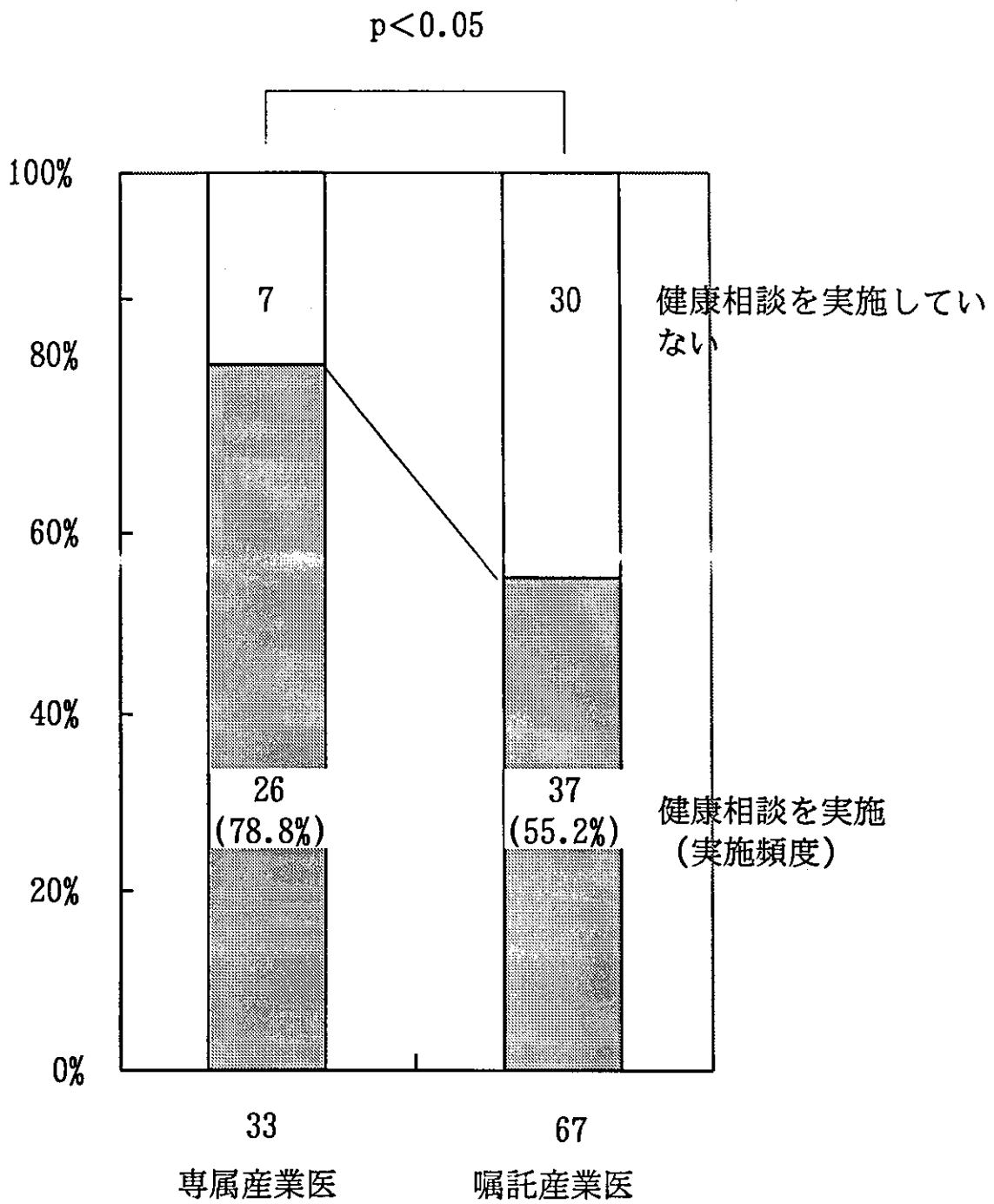


図21. 専属産業医、嘱託産業医別肝炎労働者に対する健康相談や健康指導の実施頻度 (n=100)

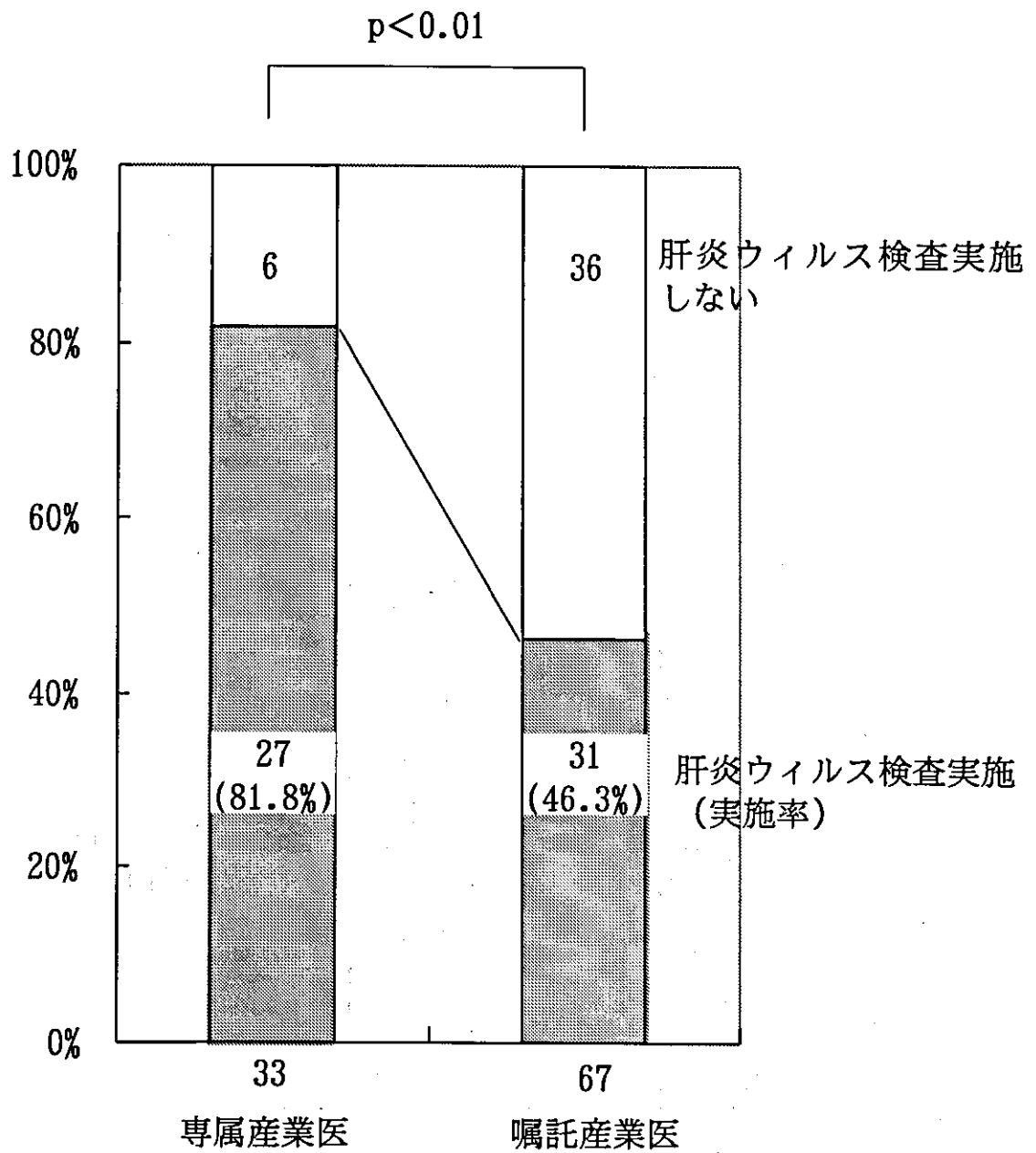


図22. 専属産業医、嘱託産業医別肝炎ウイルス検査の実施率 (n=100)

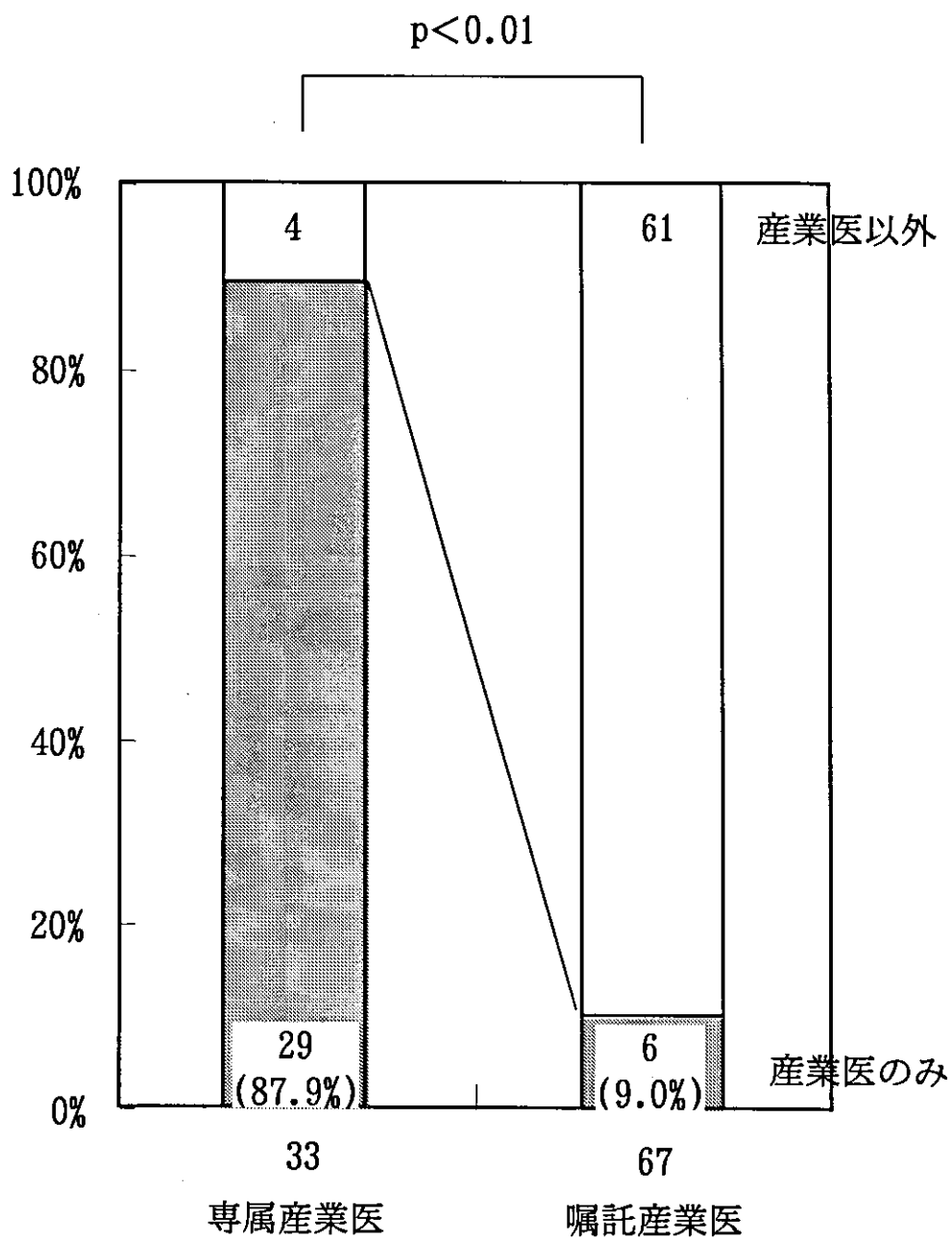


図23. 専属産業医、嘱託産業医別肝炎労働者の情報管理責任者 (n=100)